



# 乙女な“すみれ”たち

5月中旬～6月上旬

乙女高原にはたくさんの種類のすみれが咲きます。すみれは見分けるのが難しい植物の一群ですが、形態ばかりでなく、咲く時期や咲いている環境も見分ける上での大きなヒントになります。ここでは、乙女高原周辺で見られるすみれ類を、咲き出す順に紹介し（下にいくほど遅く咲くすみれです）。草原だけでなく、湿地や大窪山の遊歩道も歩くと、よりたくさんの種類のすみれに出会うことができますよ。



### タチツボすみれ

里でもよく見かけるすみれです。湿地の遊歩道で多く見られます。葉の付け根に、ギザギザのある托葉(赤矢印)が付いているのが特徴です。



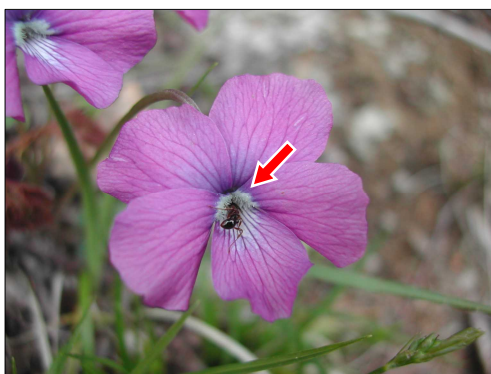
### エイザンすみれ

林の中に見られるすみれです。こんなに切れ込みのある葉を持つすみれは乙女には他にはありません。



### ミヤマすみれ

これも林の中に見られるすみれです。まとめてみると、林の中に見られるすみれって結構多いです。「小さなタチツボすみれ」って感じがしますが、大きさ、葉の形が違うし、第一、タチツボすみれと違って地上茎のないすみれです。



### アケボノすみれ

林の中に見られるすみれです。咲き始めの頃は、花だけが地面からニュートと出ていて、なんとも奇妙な感じがします。葉は後から出てきます。



### ニョイスミレ

(ツボすみれ)

湿地に多いすみれ。この中では花が一番小さく、しかも花柄が長いので、写真を撮ろうと思うと、空中に花だけ浮かんでいるような写真になってしまいます。



### サクラすみれ

日当たりのいい草原のすみれ。早春の乙女高原の代表選手。花が大きくて、横から見ると平べったく、花の中央にブラシのような白い髭(赤矢印)があります。



### エゾノタチツボすみれ

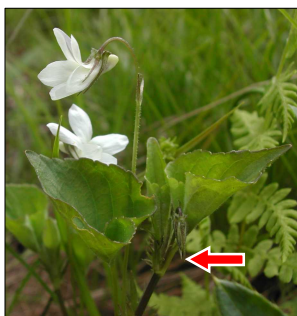
やけにノッポのすみれだなという印象を受けます。タチツボすみれと同じく、托葉にギザギザがあります(赤矢印)。

【一口メモ】  
すみれには、タンポポのように地面からいきなり花柄が出てくる“地上茎のない”タイプと、茎から枝分かれて花が咲く“地上茎のある”タイプの2つのタイプに大別されます。後者に属するのが、タチツボすみれやエゾノタチツボすみれ、ツボすみれです。



### すみれ

ややこしいのですが、すみれという名前のすみれです。花の色はまさにすみれ色。葉柄の両側に翼が付いている点で(赤矢印)、ノジすみれと見分けるそうです。



### 【乙女高原ファンクラブ】

山梨県山梨市牧丘町窪平 1110-3 植原彰方  
〒404-0013 TEL&FAX 0553-35-3682  
Mail otomefc@kcnet.ne.jp  
http://www.kcnet.ne.jp/~otomefc/

